



はんだ山の風



Contents

- P2** ブリーフィングとタイムアウト
副病院長(リスクマネジメント担当) 今野 弘之
- P2** 新任医師の紹介
泌尿器科 特任講師 石井 保夫
- P3** NSTの活動について
栄養サポートチーム 高木なつ子
- P3** ～7対1看護配置で何が変わったか～
看護部長 桑原 弓枝
- P4** シリーズ最先端医療
「先進医療：肝切除手術における画像支援ナビゲーション」
第2外科・肝胆膵外科 講師 坂口 孝宣
- P5** 病気 ここが知りたい
「心房細動のカテーテル治療」
循環器科 助教 漆田 毅
循環器科 教授 林 秀晴
- P5** 「サマーコンサート」が開催されました
医事課
- P6** 8月に移転した施設の紹介
1階 医療福祉支援センター
P7 3階 光学医療診療部, 血液浄化療法部
- P8** 交通のご案内



浜松医科大学医学部附属病院 常勤・パート看護師募集

お問い合わせ

- 人事課任用係 TEL.053(435)2117
- 看護部事務室 TEL.053(435)2627

病院の理念

患者さんの人権を尊重し、地域の中核病院として安全で良質な医療を提供する。
さらに、大学病院として高度な医療を追求しつつ優れた医療人を養成する。

基本方針

- 患者さんの意思を尊重した安心・安全な医療の提供
- 社会・地域医療への貢献
- 良質な医療人の育成
- 高度な医療の追求
- 健全な病院運営の確立

ブリーフィングとタイムアウト

最近の医療・医学教育にはやたらと横文字が多くなりました。医療安全の分野でも同様です。個人的にはよく理解していない横文字を使うよりも、日本語に落とし込んだ方が実効的だと思っています。一方で、医療安全上極めて重要な用語であるブリーフィングとタイムアウトは「状況・背景説明」「作業中断」と日本語訳するよりも、逆にこのまま英語を使った方が関連部署のスタッフにはスッと理解できると思います。あまり耳慣れない方もおられるでしょうから、簡単に説明しますと、タイムアウトは「スタッフが一度手を止めて患者や手術部位の誤認を防ぐこと」に特化しています。ブリーフィングは「スタッフとの最初のコミュニケーションと症例に関する共通認識を確認すること」で、特に手術に際してその前後で情報の共有化を図ることを意味しています。WHOのデータでは2004年56カ国で18700万から2億8100万例の大きな手術が行われており、先進国での合

副院長(リスクマネジメント担当) 今野 弘之

併症率は入院手術の3~22%、死亡率は0.4~0.8%に発生していると報告され、これらの半数が防ぎ得たと報告されています。本邦の医療水準は高く、上記のデータよりも遥かに低いものと考えられますが、Autopsy Imagingなどのデータから考えると、事故として報告されていない手術・周術期合併症による死亡数はかなりの数に上るものと推定されます。今秋、「WHO安全な手術を行うためのガイドライン」をベースとした医療安全シンポジウムが浜松で開催されますが、手術・周術期における合併症・死亡率のさらなる改善のために、ブリーフィングとタイムアウトの充実、遵守と共にWHOの提唱する10項目の完全実施など地道な取り組みが求められています。



新任医師の紹介

泌尿器科 特任講師 石井 保夫

4月1日から浜松医科大学、泌尿器科に勤務している石井保夫です。出身地は東京都で、H5年に、徳島大学を卒業後、東京女子医科大学腎センター外科に就職いたしました。女子医大病院とその関連施設では、主に一般外科、腎不全外科、移植外科のトレーニングを受けました。現在の専門領域は腎臓移植です。あまり知られていませんが、静岡県は古くから腎バンクが設立され、県内各病院に院内コーディネーターが配属されていて、移植医療にとっても熱心な地です。また浜松医大は、泌尿器科を中心に、開学当初から腎臓移植を行い、静岡県内の腎移植医療をリードして来ました。現在までに、200例の生体腎移植と150例の献腎移植を施行しています。これらの先輩方が築き上げられた歴史を継承し、腎移植医療の

チーム責任者として、これからの静岡県西部の移植医療の発展に役立てるように努力したいと思います。浜松は、気候も温暖で、自然と歴史文化にたいへん富んだ街です。このような地で働けることにとっても期待しております。また、趣味のゴルフももう少し上達できれば良いなと考えています。皆さま、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



NSTの活動について

栄養サポートチーム 高木 なつ子

NST (Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム)とは医師, 看護師, 薬剤師, 言語聴覚士, 臨床検査技師, その他の各専門スタッフが一緒になり, 入院患者さんの中から栄養管理を必要とする患者さんを抽出し, 栄養サポートしていくチームのことで

当院では毎週木曜日12時半からカンファレンス, ラウンドを行っております。また栄養治療実施計画を作成し, 主治医に連絡後, その内容を患者さんに報告いたします。NSTの役割は, 栄養評価の実施, 適切な栄養管理がなされているかチェック, 最適な栄養管理法の指導・提言, 合併症の予防・早期発見・早期治療, 栄養管理上の疑問に答える, 新しい知識の習得・自己啓発, 栄養療法の評価・効果判定等であり, それぞれの専門家たちが最新最多の知識と技術を持ちよりそれぞれの役割を發揮して患者さんの栄養をサポートしていくのがNSTです。さらに様々な院内のチーム

医療との連携を図り, より望ましい医療の提供を心がけてまいります。患者さんやご家族とのコミュニケーションの機会が増え栄養に関する不満や苦情が減少し, 有意義に過ごせるよう活動いたします。そして患者さんの入院中のQOL (Quality of Life: 生活の質) を高めていけるようサポートさせていただきます。



～7対1看護配置で何が変わったか～

看護部長 桑原 弓枝

平成18年4月の診療報酬改定で, 急性期入院医療の届出区分である7対1入院基本料が創設された。当院では, 看護師の増員により平成21年5月から7対1入院基本料を取得している。これは, 一般病棟の手厚い看護体制を評価したもので, 看護師1人に対し患者7人を受け持つ看護配置である。入院基本料をお支払いいただくのは患者さん方であり, その効果を「見える化」する責任は我々にあると考える。

以前の10対1入院基本料と何が変わったかを, 具体的に述べさせていただくことにする。看護師を増員したことで, 一般病棟(2階東病棟除く)の夜勤体制を2人から3~4人に増員することができた。それにより, 3交替制(8時間勤務)から2交替制(16時間勤務)に変更することができた。例えば, 就寝時に『おやすみなさい』と言った看護師が『おはようございます』と声をかけることができるわけで, 16時間を同じ

看護師により看護サービスを提供する。したがって, 患者さんにとっても夜間帯を不安なく過ごせることになる。

昼間の勤務においても同様で, 以前は6人程度であった勤務者を10人程度に増加した。少ない人数で慌しく病棟内を走り回っていた頃と比較すると, 明らかに変化しており, 看護師に気持ちの余裕が生まれている。『看護師さんが忙しそうで声をかけられない』といった, ご意見は減少している。

また, インターンシップで来院された看護学生さんからも, 『医師と看護師のチームワークがよい』『やさしい態度で看護ケアをされている』という評価をいただく。これまで医師が行ってきたことを, 看護師に委譲することができるようになり, 少しずつではあるが, 大学病院の医療が変わってきたと自負している。しかし, それに甘んじることなく, 患者さんが求める看護サービスに向け労を惜しまず, 邁進していきたい。



先進医療：肝切除手術における 画像支援ナビゲーション

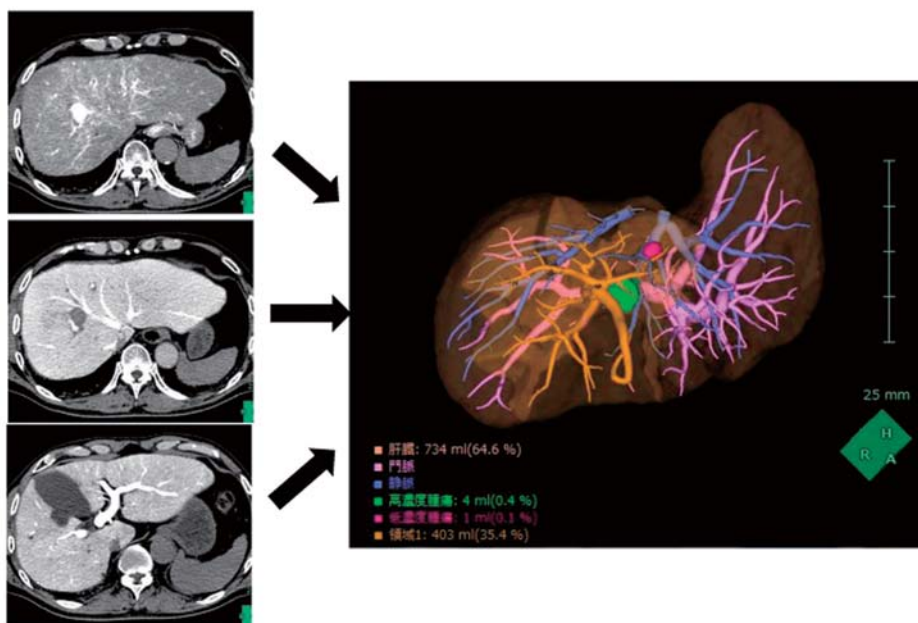
第2外科・肝胆膵外科 講師 坂口 孝宣

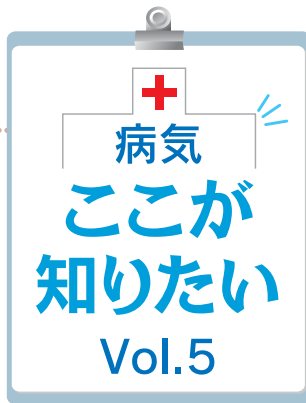
肝腫瘍の治療法には色々なものがあり、腫瘍の位置・大きさ・個数などの情報と患者さんの全身状態から治療法が選択されます。肝切除は、腫瘍を含んだ肝臓を部分的に切除する治療です。

肝臓の中には、栄養供給の上水道である肝動脈（心臓，大動脈につながっている）と門脈（胃腸から吸収した栄養を肝臓へ運ぶ），使った血液を心臓へ戻す役割の下水道である肝静脈，肝臓で作った胆汁を腸へ運ぶための胆管，が複雑に走行しています。しかし，肝臓の表面からはそれらの管は透けてみえません。

今までの肝臓外科医は「ここを切ると血管がある」という経験と，「これ位取れば十分，手術後も元気に生活できるだろう」という“どんぶり勘定”で肝切除をやっていました。経験を積んで磨かれた“どんぶり勘定”は肝臓外科医の腕の一つでした。

今回紹介する先進医療「肝切除手術における画像支援ナビゲーション」は，コンピューターによって肝臓内の血管や腫瘍の立体的な画像（絵）を作成する技術です。これを用いれば腫瘍や血管を色々な角度から観察したり，必要な肝臓の切除量を計算することが可能となります。我々は血管造影とこの技術を組み合わせることで非常に精彩な画像を作成しています（図参照）。現在，44,300円の実費（先進医療特約の医療保険以外の保険ではカバーされない）を請求させていただいていますが，それに見合う手術の安全性が得られています。肝腫瘍を患っていらっしゃる患者さんで興味のある方，金曜日午前の肝胆膵外科にいらしてください。





「心房細動のカテーテル治療」

循環器科 助教 漆田 毅
循環器科 教授 林 秀晴

心房細動は、心房が細かく不規則に震える不整脈です。現在、国内に100万人以上の患者さんがいて、60才以上で発症率が増加します。巨人軍の長嶋名誉監督、故小渕元首相、サッカーのオシム元全日本監督などは、この不整脈が原因で脳梗塞となりました。心房細動による心房の震えは1分間に400回以上となり、心室の拍動(一般的な脈拍のこと)も不規則になります。脈拍が1分間に100回以上になると、“動悸”症状が出たり、さらに速くなると“心不全”になることがあります。また、心房の震えは、かえって心房内の血流が遅くなり、2日以上続くと血栓を作りやすくなります。これが、“脳梗塞”の原因となります。

繰り返す心房細動に対しては、内服治療を行います。抗不整脈薬と脳梗塞予防のための抗凝固薬などを服用します。薬の効き目を保つために、納豆・ブロッコリ・青汁などの摂取が制限される場

合があります。

症状が強い場合は、カテーテル治療を考慮します。近年、発作性の心房細動の患者さんの多くは、左心房につながる肺静脈という血管内に発生起源を有することが分かってきました。肺静脈は通常4本あり、これを2本ずつ囲むように高周波を用いて線状の焼灼を行います。これにより肺静脈と左心房は電気的な連絡が無くなり、心房細動が治癒する可能性があります。足から挿入されたカテーテルは治療後に抜去されるため、傷は小さく翌日から歩行できます。入院期間は1週間くらいです。ただ、高度な治療技術を駆使しても再発する場合があります。また、ご高齢であったり併発する疾患によっては、別の治療を考慮します。

当院では、不整脈専用の3次元画像システムを導入しています。これにより不整脈が心臓の中を伝わる様子を詳しく分析し、治療精度の向上に役立てています。心房細動は、他の疾患同様に各患者さんに適した治療を慎重に検討する必要があります。よく説明を受けた上で方針を決めることが大切です。

「サマーコンサート」が開催されました

7月6日(水)、病院多目的ホールにおいて、浜松医科大学 管弦楽団部による「サマーコンサート」が開催されました。コンサートは弦楽による「風の通り道」「となりのトトロ」、合唱による「上を向いて歩こう」、吹奏楽による「リベルタンゴ」、「演歌メドレー」が演奏されました。懐かしい曲や聞き覚えのある曲を楽しむことができました。

当日は暑い中にもかかわらずたくさんの患者さんやご家族が会場を訪れ、心温まる演奏に楽しいひと時を過ごしていただきました。学生の皆さんありがとうございました。

(医事課)



8月に移転し

外来改修工事により、医療福祉支援センター、光学医療診療部（内視鏡）、

1F 医療福祉支援センター

医療福祉支援センターは、患者さん、ご家族に対する総合的な医療・福祉相談等のサービスを行う部署として開設されました。地域連携室、難病相談支援室、がん相談支援室、肝疾患連携相談室といった部署とも協働し、現在、様々な領域の相談・支援に当たっています。これまで各部署・各室が離れておりましたが、外来再整備（改修）によって、一つの部屋で業務を行うこととなりました。多くのスタッフを抱えておりますが、各々が協力し合い、皆様のお役にたてるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



地域連携室 事務室

地域連携室は、地域医療に貢献することを目的に設置されました。地域診療所等の医療機関と本院との機能分担を推進するとともに、初診紹介患者さんの予約サービスシステムや開放病床における共同診療等を支援しています。

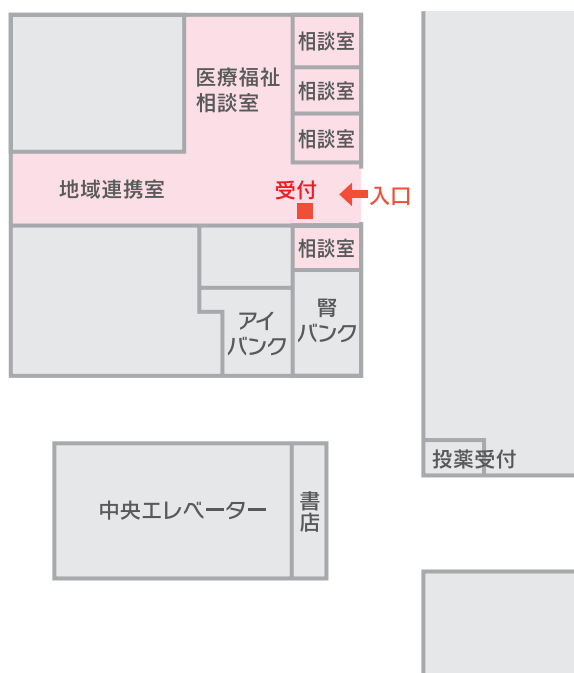


相談室

患者さんのプライバシーを守るため、4つの相談室を備えています。



医療福祉相談室 事務室



病気や障害を抱えると、健康なときには考えられなかった様々な不安や心配事、そして患者さんやご家族の生活上の問題が生じることがあります。当院では医師や専任の看護師、医療ソーシャルワーカー等が、患者さんの社会的、経済的問題や医療、看護等に関する不安や心配事に対応し、専門的知識や各種情報をもとに、少しでも解決できるようご相談に応じています。また、地域の医療機関、保健所、福祉行政機関、居宅介護支援事業者、在宅医療支援事業者等とも連携を図り、患者さんやご家族が退院後も安心して在宅医療ができるように円滑な退院支援をいたします。

た施設の紹介

血液浄化療法部(透析室)が移転しましたのでご紹介します。

3F 光学医療診療部,血液浄化療法部



検査室3内部

光学医療診療部(内視鏡室)

改修により広いスペースが確保され、落ち着いた雰囲気になりました。患者さんの待合室が出来、トイレの和が増え、また、リカバリーも増床されました。患者さんがより安心して検査が受けられるように努めていきます。

光学医療診療部 受付風景



中央エレベーター

体重測定装置と 中央監視装置 モニタ



透析室内部

透析中は、テレビを見たり本を読んだりして過ごす方もいます。個室や各ベッドごとのスペースを作ることができ、診察やケア時のプライバシー保護に配慮しています。

体重測定装置と中央監視装置モニタ

透析室内に入り、体重測定後ベッドへ移動します。車椅子でも体重測定が出来るよう、バリアフリーの体重計を用意しています。スタッフステーションと治療室は、オープンスペースで患者さんの状態にすぐ対応できるような配置にしました。また、中央監視装置のモニタリングにより、安全に透析治療を受けられるようにしています。



外来診療日一覧

H23.10.1現在

診療科名	診療日										備考	
	初診					再診						
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金		
内科 435-2632												
総合内科(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第一内科(消化器内科)	○	○	○	※○	○	○	○	○	※○	○		※午後診察のみ
(腎臓内科)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(神経内科)	○	※○	○		○	○	※○	○		○		※午前診察のみ
第二内科(肝臓内科)	○	○		○	※○	○	○		○	※○		※予約のみ
(呼吸器内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
(内分泌・代謝内科)	○	○		○	○	○	○		○	○		
第三内科(血液内科)	○	※○	○	○	○	○	※○	○	○	○		※午後診察のみ
(免疫・リウマチ内科)	○		○	○	※○	○		○	○	※○		※午前予約のみ
臨床薬理内科	※○			※○		※○			※○			※予約のみ
循環器内科	○		※○	○	○	○		※○	○	○		※午後診察のみ
ペースメーカー外来								※○				※午後(予約のみ)
ピロリ菌外来(自費診療)	※○					※○						※予約のみ
精神科神経科 435-2635												
(初診・再診)	○	○	○	○	○		○	○	○	○		
(森田療法)								※○				※午後診察のみ
(児童思春期)							○		○			
(摂食障害外来)								※○				※午後診察のみ
(認知療法外来)									○			
第一外科 435-2641												
(呼吸器)			○		※○			○		※○		※午前診察のみ
(小児)		※○					※○					※午後診察のみ
(消化器・内視鏡)	○		○		○	○		○		○		
(乳腺)	○	○			○	○	○			○		
心臓血管外科(初診・再診)	○		○		※○	○		○		※○		※予約のみ
第二外科 435-2642												
(初診・再診)	○	○	○		○	○	○	○		○		
(腸管)	○					○						
(食道・胃)			○					○				
(肝・胆・膵・門脈)					○					○		
(血管)		○					○					
(緩和ケア外来)				○						○		
光学医療診療部			○					○				
脳神経外科 435-2644												
(初診・再診)	○	○		○	○		○		○	○		
整形外科 435-2647												
(初診・再診)	○		○	※○	○	○		○	※○	○		※午前予約のみ
(教授外来、脊椎)	○			※○		○			※○			※午前予約のみ
専門外来(骨粗鬆症)				※○					※○			※午前診察のみ
(リウマチ)			※1○	※2○				※1○	※2○			※1午後診察のみ ※2午前診察のみ
(手・末梢神経)			※○					※○				※午前診察のみ
(脊椎)	※○					※○						※午前診察のみ
(腫瘍)			※○					※○				※午後診察のみ
(股関節)					※○					※○		※午前診察のみ
(肩関節)					※○					※○		※午後診察のみ
(膝関節)					※○					※○		※午後診察のみ
(小児整形)	※○					※○						※午後診察のみ
皮膚科 435-2650												
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
(乾癬外来)			○					○				
(アトピー外来)	○		○			○		○				
(光線過敏症外来)		※○					※○					※奇数月第4週のみ
(脱毛症外来)	○					○						
泌尿器科 435-2653												
(初診・再診)	○	○	○	○	○		○	○	○			
(腎移植外来)			※○	○				※○	○			※第1週・第3週のみ
(結石外来)		○		○			○		○			
(排尿障害外来)		※○					※○					※午前診察のみ
(不妊症外来)	※1○				※2○	※1○				※2○		※1午後診察(第2週は休診)のみ ※2午後予約のみ
(前立腺密封小線源外来)		※○					※○					※午前診察のみ

診療科名	診療日										備考
	初診					再診					
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	
小児科 435-2638											専門外来午後の再診は、全て予約制
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(小児遺伝)		※○					※○				※午後(完全予約制)
(内分泌)	※1○	※1○		※1○	※1○	※2○	○		※1○	○	※1午前診察のみ ※2はAMと15時から
(心臓)		※1○		○	※2○		※1○		※2○	※2○	※1午前診察のみ ※2午後予約のみ
(血液)									※1○	※2○	※1午後診察のみ ※2第2・3・4週午後診察のみ
(アレルギー)	※2○			※2○		※1○			※2○		※1午前・15時から(予約のみ) ※2予約のみ
(神経)				※○	※2○		※1○		※2○	※2○	※1予約のみ ※2は午後予約のみ ※は午前のみ
(腎臓)				※○	※○				※○	※○	※午後診察のみ(予約)
(新生児フォローアップ)							※1○		※2○		※1午後診察のみ ※2不定期
(乳児検診)	※○					※○					※午後(予約のみ)
(内分泌フォローアップ)										※○	※午後(予約のみ)
眼科 435-2656											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
専門外来(網膜変性外来)						※○					※第4週午後のみ
(小児・弱視斜視外来)								※○			※午後予約のみ
(ロービジョン)										※○	※午後予約のみ
耳鼻咽喉科 435-2659											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
特殊外来(腫瘍外来)	○					○					
(耳外来)				○					○		
(めまい外来)				※○					※○		※予約のみ
(耳鳴外来)		○					○				
(難聴外来・人工内耳外来)		○					○				
(睡眠時無呼吸・顔面神経外来)					○					○	
(鼻副鼻腔・アレルギー外来)				※○					※○		※午後予約のみ
産科婦人科 435-2662											女性医師ご希望の方はお申し出ください
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(婦人科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(産科外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(腹腔鏡外来)		※○					※○				※午後予約のみ
(不妊外来)						※○	※○		※○	※○	※午後予約のみ
(光療法外来)			※○					※○			※午後予約のみ
(母親学級)							※○				※予約制
(女性漢方外来)	※○					※○					※第2・4週予約制
放射線科 435-2665											
(放射線治療外来)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ
(アンギオ外来)		○		○			○		○		午前のみ
麻酔科蘇生科 435-2668											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	午前のみ
リハビリテーション科 435-2747											
(初診・再診)		○	○	○			○	○	○		
形成外科 435-2647											TELは整形外科と共用
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○		午前診察のみ
歯科口腔外科 435-2673											
(初診・再診)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
(唇顎口蓋裂外来)				○					○		
(インプラント外来)				○					○		
(顎補綴)			※○						※○		※診察日は外来にお問合わせください

① 診療受付時間

一般外来 午前 8時30分 ~ 午前11時まで
 専門外来
 専門外来 午後 0時30分 ~ 午後 2時まで

② 休診日

土曜日および日曜日
 祝日法による休日
 12月29日~翌年 1月3日まで

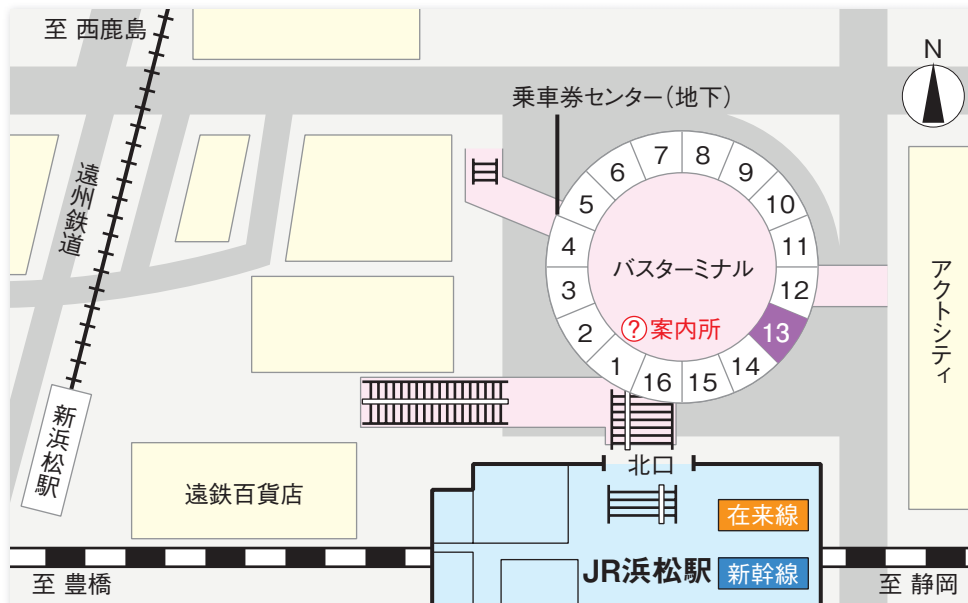
交通のご案内



●バスをご利用の方

バス乗り場	路線番号	路線名称等	所要時間	料金
13番ポール	50	磐田山の手線医大行き	約35分	410円
	57	医大循環(中央署まわり)	約35分	410円

●浜松駅からバスターミナルまで



病院広報 **ほんだ山の風** 第5号 平成23年10月発行

発行／浜松医科大学医学部附属病院広報推進委員会 〒431-3192 浜松市東区半田山1丁目20番1号
TEL.053(435)2111(代表) FAX.053(435)2153(医事課) Hpアドレス/ <http://www.hama-med.ac.jp/>